

# 産・学・官による実証実験 モバイルバッテリースタンド設置について

## 1. 事業目的

災害発生時のモバイル端末等の電源供給、平時からの防災情報提供による地域防災力の向上、地域の活性化に資する新たな情報システムとしての有効性及び課題を検証するため「産・学・官」が連携し実証実験を行う。

## 2. 事業概要

災害時に避難所となる市内公共施設にモバイルバッテリースタンドを設置することにより、**スマートフォン等への電源供給及び緊急情報の提供**を目指す。また、市民へのモバイルバッテリースタンドの認知度の向上及び有効利用を図ることを目的に、平時から、**市政情報・施設イベント等の広報**及び防災情報の提供を行う。

## 3. モバイルバッテリースタンドの概要

スマートフォン等への充電を可能とするモバイル予備バッテリーの充電スタンド。このスタンドには2タイプあり、いずれもデジタルサイネージ機能を搭載している。

通常（平時）は利用者（市民等）が1日165円でモバイル予備バッテリーをレンタルし、どの設置施設（充電スタンド）でも返却が可能となる。

災害時には、モバイルバッテリーを無料で貸し出しすることが可能。また、デジタルサイネージ機能を用いて災害情報を優先的に発信することもできる。

## 4. 施設のメリット

- モバイルバッテリースタンドの広告枠を活用した、来館者へのデジタルデータによる**イベント等の広報**
- スマートフォン等の**充電難民の解消**
- 広告枠の無償提供**「1枠15秒」

## 5. スケジュール

機器設置：3月中旬から市内避難所11カ所で運用開始  
（株式会社大倉）

協定締結：令和5年3月23日（木）10時  
（戸田市×法政大学×株式会社大倉）

※設置箇所については順次拡大を検討



モバイル  
バッテリー



スタンド  
8口モデル



スタンド  
24口モデル